今月は
「こわい」をテーマに
本を集めてみました。
司書それぞれが
選んだ「こわい本。
…いかがですか？

「時計はとまらない」 K933 フ
フィリップ・プルマン／作

作家のフリッツはホラー小説を書いては町の人たちに聞かせていた。ある日，町の人たちに結末を書き終えていない物語を聞かせていた時のこと。突然，店のドアがゆっくり開き，思いもよらぬ客が入ってきた。果たして，その人物の正体は!?

「禁断のパンダ」 F タ
拓未 司／著

神戸の町でフレンチのビストロを営む柴山幸太は，妻の友人の結婚式で有名な料理評論家の中島と知り合い，料理のセンスを認められる。その結婚式の翌日，神戸ポートタワーで男性の刺殺体が発見され，相次いで失踪事件が起こり…事件の真相に迫る後半は，可愛らしいタイトルからは予想外のまさかの怖さでした。

「ねんどぼうや」 E 983 キ
ミラ・ギンズバーグ／文

おじいさんとおばあさんが，粘土で作った「ねんどぼうや」粘土の人形は動き出し，喋ります。「おなかぺこぺこ！」と。ねんどぼうやは，次から次へと食べ物を口にします。食べ物がなくなると…ついにはおじいさんとおばあさんもぺろり。だんだんこわくなってくるお話です。

「百物語」 M ス
杉浦日向子／著

百物語－「不思議なる物語の百話集まる処，必ずばけものの現れ出る」江戸に伝わる99の話は，読むというより，不思議で美しい骨董品のように手のなかで"愛でる"という感じがする。江戸時代，不思議な事はいまよりもっと身近にあって，人々はそれをそのまま受け入れていたように思える。

「ロアルド・ダールコレクション 10
ぼくのつくった魔法のくすり」
ロアルド・ダール／著 K933 タ

ジョージのグランマ（おばあさん）は，不気味でとってもいじわる！そんなグランマを，いい人間にしちゃおうと，ジョージは薬を開発することに。さて，その薬の世にも恐ろしい効能とは…？ブラックユーモアを効かせつつも，読者をスカッとさせる展開はダールならでは。人間の心の裏にひそむ「負の要素」を，巧みに描き出した作品です。

「きんぎょのひるね」 E 913 オ
奥野 涼子／作

のんびりとしたタイトル，かわいらしい絵，そして，しかけ付き。どうしたって楽しいはずなのに，でもこの絵本，怖いです。どんなふうにこわいのかは，読んでみれば分かります。こどもに読んであげるのも，こわいなあ～。

「悪い子」のための怖くて不思議な童話集」 943 ヘ
ルート・ヴィヒ・ベヒシュタイン／文

グリム童話など代表的な童話には，常に「よい子」が登場し，王子様を待つ貞淑な姫や，姫を助ける強くたくましい王子が描かれています。私たちはこのような童話を読み，これが「理想像」だと思いがちです。しかし，この童話には，わがままで気の強い姫や，計算高い王など，「悪い子」が活躍します。人間の真実の姿が描かれており，それゆえグリムとは違う輝きを放ち，また違った視点から童話を見直す事ができる一冊です。

「夜は一緒に散歩しよ」 F ク
黒 史郎／著

背表紙の，ちょっと可愛く目を惹く書体にだまされて，手にとったら恐かった本。母の死後，奇妙な絵を描き続けていた娘が，あるときから「青い顔の女」ばかりを描くようになり，その顔を「ママ」と呼ぶ。じわじわと恐くなって，夜トイレに行けなくなります。

「白川静さんに学ぶ漢字は怖い」
小山 鉄郎／著 821.ユコ

漢字の本当の意味を知っていますか？成り立ちや体系を知ると，なにげなく使っている漢字に潜む"怖い"部分が見えてきます。「寒」は行き倒れで死んだ人，「白」はどくろのこと…，知れば知るほど興味深く怖い漢字です。

「怖いこわい京都，教えます」
入江 敦彦／著 291.6 イ

日本の伝統的な景観が数多く残っている京都。そんな美しい都市には，実は怪奇・心霊・血の歴史がそこここに残っているのをご存知ですか。それは，鴨川や春日神社など観光地として賑わっている場所にもあるのです。実在する「怖い京都」88ヶ所を土地図と共にまとめている本書。これを手に，一味違った京都の旅をするのもいいかもしれません。微笑みに隠された得体の知れない恐怖をどうぞお楽しみください。

「パンダの里から」 489.5 チ
中国パンダ保護研究センター／
日本パンダ保護協会／編

おそらく，「怖い」と正反対の印象を与える"パンダ"。とても温厚な動物で，動物や人を襲うようなことはめったにないそうです。とにかくかわいらしい写真がたくさん！パンダにまつわる言い伝えや習性も紹介されているので，楽しみながらパンダのことを知ることができますよ。

「コーリング 闇からの声」 F ヤ
柳原 慧／著

特殊清掃を行う純也は，霊感が強く清掃に入った部屋で女性の霊を見てしまう。美を願うあまり，何度も整形をくり返した女性。何が彼女を追い込んだのか。彼女の死から浮き彫りになる美容整形の闇。霊より女性の美への執着のほうが怖い一冊。

そっと おとどけ

2010年 9月号 Vol.83

イベント

9月

11(土)	14:00～	土曜シアター 上映作品「アフリカの女王」(104分)	<ユメニティ小ホール> 100回記念!
14(火)	11:00～11:30	麦のこ	(乳幼児向け読み聞かせ)
18(土)	14:00～	なのはな教室	<ユメニティ小ホール>
25(土)	14:00～15:00	ごくらくとんぼ	(おはなし会)

10月

2(土)	14:00～15:00	昔ばなし語ろう会	(おはなし会)
9(土)	14:00～	土曜シアター 上映作品「海人の愛」(83分)	<ユメニティ小ホール>
12(火)	11:00～11:30	麦のこ	(乳幼児向け読み聞かせ)
16(土)	14:00～15:00	図書館司書のおはなし会	
23(土)	14:00～15:00	やまびこ会	(おはなし会)

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

▒ はおやすみです

※ 太字は17時閉館です

人形劇 & くるくるかわり絵

― 秋の読書まつり開催 ―

10月30日(土)

11:00～12:00 人形劇「ねずみの嫁入り」(主演 劇団 ぱれっと)

14:00～16:00 科学工作「くるくるかわり絵」(対象は小学3年生以上です)

場所はユメニティ小ホールです。
参加は無料ですので、ぜひご参加下さい。

表彰式のお知らせ

9月7日締切の読書感想文・感想画コンクールの表彰式をユメニティ小ホールにて行います。

10月31日(日) 11:00～12:45

展示のごあんない

一般	8/26(木)－9/8(火)	児童	9/7(火)－
「心ゆたかに生涯読書 特集」		「おもしろいよ! 自然・科学の本 特集」	
敬老の日にちなんで、時代小説や健康・くらしについての本、また大人の絵本などをそろえています。		自然・科学をテーマに、恐竜・実験・虫・数・植物の本をあつめています。	

今日おとどけ担当の気になる一冊

「遠野物語」 柳田国男/著

発刊100周年を迎える「遠野物語」。河童やざしき童子、オシラサマ…等々。あまりに有名だけど、ちゃんと読んだ事がないという方もいるのでは? 実はネムも…。一度は読んでおこうと思う一冊です。

直方市立図書館
〒822-0034
直方市山部301-11
TEL：0949-25-2240
FAX：0949-23-3902
開館時間 火～土 10:00～19:00
日・祝 10:00～17:00
HP：http://www.yumenity.jp/library/library.html